

明え

花なに

明 ちょっと待つてね

花 接続できないの

明 大丈夫だと思う 砂がかんてるんだよ

花 そう

明 月の砂つて大きいんだよ粒々が

花 そう

明 あれおかしいな ちょっと待つてね あれ ちょっと

あこつちで試してみるね あれおかしいな え ちょっと
と あれ え待つてねもうすぐだから もう少し もう

少し もう少し いや え あれ 待つて 待つて

花 明くん

花 大丈夫だよ

明 うん

花 予行練習じゃなくなつたね

明と花雨子は見つめ合う。明から、花雨子の表情は地球光

の逆光で見えない。だから明は、花雨子の背後に広がる満

天の星空を見つめた。

風野 この窓割れたらやつぱりこの部屋の空気とかびよお

おつて抜けんのかな

村 結婚式まだだよ

風野 分かんないけど そういうことにしたんじやない

村 そういうことつて

風野 結婚式の前に死ぬことにしたんじやない

村 え本当に

風野 知らないけど

月のホテル。風野と村の部屋。風野は窓から外の景色を眺

めている。村は、風野の発した一言に言葉を失つていて

ころだった。

村え

風野 すごいね お月さんて本当に何もないんだね

村 いや 風野くん なんて

風野 お月さんて何にもないねつて 見てみなよ窓の外

村 いや風野くんその前

風野 あの

村 うん

風野 死んだつて

村 お義姉さんが

風野 そうだよ

村 え

風野 え死ぬつていうのは本当に死ぬつて意味な

村 え死ぬつていうのは本当に死ぬつて意味な

風野 えごめん俺村ちゃんの言つてること難しいかも

村 え全然難しくないよ 死ぬつて心臓がとまるつてこと

つて意味

風野 え死ぬつて他に何があるの

村 戸籍を消すとか

風野 そんなことしたら犯罪だよ

村 犯罪だよでもそんなこと言つたら死ぬのだつて犯罪で

風野 えごめん俺村ちゃんの言つてること難しいかも

村 え全然難しくないよ 死ぬのは法律に違反してるんじ

村 うん聞いた

風野 雨姉ちゃん結婚式のあと結婚相手と死ぬんだよって

村 明さんは生きてるつて

風野 明さんは生きてるつて

村 えなんで いやいいんだけど生きていいんだけど

えお義姉さんは

風野 だから死んだつて え俺言つたよね雨姉ちゃん結婚

式のあと結婚相手と死ぬんだよって

ことじやなくて

風野 うん

村 え死ぬつていうのは本当に死ぬほどさびしくなるけどねつて

風野 え死ぬつていうのは本当に死ぬほどさびしくなるけどねつて

風野 え死ぬつて他に何があるの

村 戸籍を消すとか

風野 そんなことしたら犯罪だよ

村 犯罪だよでもそんなこと言つたら死ぬのだつて犯罪で

風野 えごめん俺村ちゃんの言つてること難しいかも

村 え全然難しくないよ 死ぬのは法律に違反してるんじ

風野 え

村 いや違反してないんだけどね

風野 うん

村 違反してないよ

風野 うん

形 薄い膜まだあるよ

明 薄い膜剥がれちゃつたら干からびちやいますよ

形 まだよく分からなんだよ

明 酸素ももう無くなりますよ

形 いいんだよ分からんだから僕は

明 え形さん何がしたいんですか

形 お義兄さんだよ

明 お義兄さん何がしたいんですか

形 よく分からなんだよ

明 は形のチューブを薄い膜発生装置に取り付ける。

形 ちょっとと明くん

明 あの それはずるいと思いません

明 は、自分のチューブを外して、

形 ちよつと明くん

形 え 明くん

明 お義兄さんは僕を恨んでるんですよね 僕が雨子にしどのと同じことをお義兄さんに繰り返させて僕が苦しむところを見せたいんですよ

形 違うよ誤解だよそれは

明 だつたらどうしてこんなことさせたんです

形 チューブをつけようよ

明 は自分のチューブの先を持ったまま、薄い膜発生装置から離れる。でも雨子は来るよ 羊人間に

形 薄い膜剥がれちゃうよ

明 僕は死ぬためにお月さんに来たんです 昨日も雨子のチューブが壊れた時僕も自分のチューブを外したんですでも気づいた時には僕のチューブだけ差し込まれていたんです 傍らには雨子の左手があつて雨子の薄い膜はとつくのむかしに剥がれて無くなっていたんです

形 は明からチューブを奪い、薄い膜発生装置につける。

明 え

形 羊人間を信じてるかい

明 え

形 羊人間だよ

明 はい 雨子は僕の心の中で生まれ変わります

形 心の中とかそんなんじやないよ

明 え

形 羊人間は本当にいるんだ 人間は死んだら本当にこのお月さんの上で生まれ変わるんだよ 地球にいた頃の記憶を携えて 明くんはどうして雨子が結婚式の前に死んだと思う

明 それはチューブが壊れたから

形 人の命を繋ぐものがそんな簡単に壊れるだろか

明 え

形 雨子が自分で壊したんだよ 結婚式の前に死ぬ為に

明 なんでそんなことを

形 明くんは雨子に会いたいかい 羊人間になつた雨子に

明 分かりません

形 分からないんだよ僕も でも雨子は来るよ 羊人間になつて 見ていておいでのしつかり見ていておいでの

四場

月のホテル。裏の丘。夢雨子が仰向けて寝ていて。土雨子が立つて、夢雨子の顔をじっと見ている。二人は、頭にアントナをつけている。夢雨子は目を開けた。

夢 え

土 あ

夢 え

土 おはよう 雨子ちゃん

夢 おはよう あれ 死んだ私

土 死んだよ そんで

夢 うん

土 もう羊人間だよ私たち

夢 あなたも

土 うん

夢 あなたも雨子ちゃん

土 そう

夢 二人になつちやつたの

土 そうよ 私たち二人になつちやつたよ

夢 羊人間てみんなそうなの

土 分かんない 初めてなつたから

夢 そうだよね

土 とりあえずあなたも私も指は五本ずつあるよ

夢え よくあるでしよう 一人の人間を部分部分で分けてあなた右手の親指で私右手の人差し指でつて

夢か あんまりないと思うよ

土か あなた全部ついてたよ 私全部ある 目とか鼻の穴と

夢か あるよ

土か 鼻毛とか

夢え 鼻毛全部あるか分かるの

土か 数えて数えて

夢え いいよ

土か あはあは

夢え ちょっと動かないでよ

土か だつて本気で数えてるんだもん

夢え えちょっと横になつて横になつて

土か なんでなんで

夢え 光が鼻の穴の中入らないんだよ

土雨子 横になる。

土なんか全然違うね

夢え 顔とか 生きてた頃こんなんだつた

夢え あなたも違うよ

土やつぱりそう

夢きれいな鼻毛

夢え どうするこれから

土え あの人死んだかな

土え 死んでないよチューブ繋げたんだから

夢え どうして

土え どうしてチューブを繋げたの

土え そんなこと私に聞かないで

土雨子 自分のことでしよう

土雨子 自分のことでしよう

夢え どうするこれから

土雨子 一緒に会いに行こうか

夢え 二人で行つても困らせるだけだよ

土雨子 じやあじやんけんする

夢え 絶対に会いたいでしよう

夢え じやんけんに負けたら

土雨子 絶対に会わない

夢え そうだね

土雨子 私ちよき出す

夢え えひどい

土雨子 私ちよき

夢え なんでそんなひどいこと言えるの

土雨子 私絶対に会いたいの

夢え 公平にしようよこういうの

土え 私ちよき出す

夢え じゃあじやんけんしない

土え えなんで

夢え キスして

土え プス

夢え 私も絶対嫌なんだけじと考えようよ どつちかしかない

土え キスか 包丁で刺すか

夢え 私は刺すよ

夢え 刺せないよ

土え なんでよ

夢え お腹の子 どつちにいると思う

土え

夢え やつぱりじやんけんしよ

土え ひどいよ私も

夢え それすぐひどいよ

夢え ちよき出すでしょ

土え ちよき出すよ

夢え じやんけん

土え ちよつと待つて一緒に言お

夢え うん

夢・土 じやんけんぱち

夢雨子はぐーを出した。土雨子はちよきを出した。二人は自分の指先を見つめた。

土 いつてらつしやい

村 私たちもおんなじことするの

風野 おんなじことつて

村 私と風野くんが結婚したら私殺されるの

風野 羊人間になるんだよ

村 私はならないよ

風野 村ちゃん 誰だつて死んだら羊人間になるんだよ

村 うん

風野 だつたらしんどくなる前に死んどきたくない

村 風野くん

風野 はい

村 そんな無責任なこと本当に言つてるの

風野 え 責任て誰に

村 私地球に帰るよちやんと

風野 僕も帰るよ

村 私風野くんと地球帰るよちやんと

風野 僕も帰るよ

村 風野くん

風野 帰るつて

村 風野くん

風野 帰るよ

村 風野くん

風野 帰るつて

村 風野くん

風野 帰るつて

村 風野くん

風野 帰るつて

風野 帰るよ

風野 風野くん

風野 帰るよ

風野 風野くん

風野 村ちゃんごめん 分かりません確かに

風野 うん

風野 だから今晚は最高のえつちさせてください

村 いいよ

風野 無重力えつち

村 あるよ重力

村、待つてる。風野、村に顔を近づける。気づいて、花雨子の目を塞ぐ。顔を近づける。かちやり。地下室のドアが開く。廊下の光の中に誰かが立つている。頭にアンテナがある。カゼノである。

風野 僕も帰るよ

カゼノ すみません

風野 はい

カゼノ どこの部屋にも誰もいなくて

風野 このホテル今日は僕たちだけなんですよ

カゼノ さびしいところですね

風野 お月さんの上ですから

カゼノ そうですか

風野 あの 頭に何か刺さつてますよ

カゼノ はい 羊人間ですから

風野 帰るつて

村 風野くん

風野 え

カゼノ はい

風野 あれ

カゼノ 風野くん

風野 村ちゃん 目が痛い

村 え

風野 あてて え 村ちゃん目が痛い

村 え 砂が入ったんじゃない

風野 砂が入ったのかな

村 ホテル病院行こうよ

風野 え 痛い痛い

村 ホテル病院行こホテル病院

村は風野に寄り添つて地下室を出た。カゼノはじつと見ていた。

六場

月のホテル。雨子と明の部屋。かちやり。明が部屋のドアを開けると、ベッドに夢雨子が座つていた。

明 雨子

明 え

夢 うん

明 雨子

夢 うん
明え 本当に雨子
夢 そうだよ
明 なんか 顔変わったね
夢 羊人間になつたから
明え 立つてみて
夢 雨子、立つ。
明 動いた
夢 動くよここにいるんだから
明え 本当に雨子
夢 雨子じゃなかつたらどうする
明え
夢 私 やっぱり私化け物
明 そうじやないよ
夢 じやあこつち来て
明 んか僕 裏切られたように感じてて いや
夢 までなにが雨子だったの
明 分かんないけど僕のこと今 すごいなんか 雨子っぽ
く見ているよ
夢 ただいまつて
明 うん
夢 地球で私が家に帰つて 「ただいま」 つて言つてたでしょ
う
明 うん
夢 雨子の深い思い出の中で私が 「ただいま」 つて言うと
明くんは 「うん」 を 2018 回と 「おかげり」 を 603 回
と 「遅かったね」 を 89 回と 「早かったね」 を 20 回とそ
の他をちょうど 300 回返してくれたの
明え
明 なんで僕のチューブだけ繋がつてたの 僕あの時僕の
チューブも外したよね 雨子のが壊れて繋がらなくなつ
て予行練習じやなくなつて
夢え 私もよく覚えてないあの時のこと
明 挨拶の回数は覚えているのに
夢 私は明くんがチューブ外してくれて嬉しかった
明 じやあなんで僕が気がついた時にチューブが繋がつて
たの
夢 あ
明 うん
夢 あ
明 じやあ本当の雨子に聞いてきてほしい
明 ねえ 触つて
明 ねえ 雨子は今どこにいるの
夢 私 ここにいるよ
明 本当の雨子は挨拶の回数なんて覚えていないよ
夢え 明くん 嘘噏しないでおこう
明 嘘噏してないよ
夢 怖い顔やめてよ
明 僕ちよつくら死んでくるよ
夢 なんでちよつくら死なないで
明 ちよつくら死んで本当の雨子を探してくるよ
夢 ねえ触つて
明 触つてどうするの
夢 触つたら私のこと本当だつて分かるよ
明 僕がびびつてふるえてたからそれで雨子は僕のチューブ
繋ぎなおしてくれたんだもんね
夢 違うよ触つてお願い
明 こんな情けない奴と一緒に死にたくなかつたんだよね
夢 そんなことない私一緒に死にたかった
明 僕ちよつくら死んでくるよ
夢 私も分かんないんだよ気づいたらホテルの裏にいて

全部本当にそこにあるものなのかどうか　だから触つて
ほしい

明　触つて本当だつたら雨子は本当になつちやうんだよね

夢　え　どういうこと

明　僕もよく分かんないからちよつくら死んでくるよ

夢　じゃあ私アンテナちぎるね

明　え　なんで

夢　（アンテナを引っ張りながら）明くん死に行くのなら
わたしたたたたたい　えこれすぐ痛い　ごめん明くん

明　えやめなよ

夢　でもアンテナやめて明くんは

明　ちよつくら死んでくるよ

夢　（アンテナを引っ張り）わたたたたいわたたたいわた
たたたいわたたたい

明　なになにがしたいんだよ

夢　出て行かないで

明　雨子にしか

夢　触つて

明は夢雨子をじつと見た。

夢　触るだけでいいの

明　雨子にしか見えないなあ

夢　私この部屋で待つてる

明は部屋を出て、ドアを閉めた。がちや。ばたん。
は明がもう一度ドアを開けてくれのを待つた。

夢雨子

七場

月のホテル。形の部屋。形が戻ると、形のベッドの上に土
雨子が座つていた。形と目があつた。二人は背筋を張つた。

形　雨子

土　お兄ちゃん

形　え　雨子

土　私雨子に見える

形　分からなければ

土　今名前を呼んだ

形　だつて　分からなければ

土　私いつの間にかお月さまのホテルの前に立つてたの
どうしていいか分からなくて　それでお兄ちゃんの部屋
に来たの

形　なんで僕の部屋なんだよ

土　お礼がしたくなつたのよ　お兄ちゃん

形　うん

土　お父さんのように　私をここまで育ててくれてありがとう
どう　お月さままで連れてきてくれてありがとう

形　お前　本当にこれでよかつたのか

土　私今幸せよ

形　嘘を言つているね

土　なんで

形　お前が今本当に幸せを感じてるならお前は絶対に明く
んの部屋に行くよ　でも僕の部屋を選んだということは
幸せじゃない何かがこの部屋にあるんだよ

土　どういうこと

形　なんで結婚式をせずに死んだんだよ

土　あれは事故よ

形　ちいちやい頃から今まで僕はずつとずっとお前の幸せ
ばつかりを求めてきたんだよ　お月さんに来るのだつてお前も
このお月さんのホテルを貸し切りにするのだつてお前も
のすごいお金がかかっているんだよ　いやお金の話じゃ
ないことは分かつてているんだよ　でも敢えてだよだつて
僕らはもう実家も土地も全部売つぱらつちやつて兄妹の
思い出一つ引っ提げてここまでやつて來たんだよ　それ
をお前は台無しにしたんだよ

土　そうよ

形　そうよ　そうよつてなんだい

土　お兄ちゃん　私二人いるの

形　ん　え

土　羊人間の雨子が二人になつちやつたのよ

形　え　どういうこと

土　明くんともう一人　私　一緒に死んでほしい人がいた
のかもしれない

形　え

土　私　もうすぐお月さまの裏側へ行くの

形　どうして

土　羊人間になれば分かるわ　地球つて眩しいのよ

形　あんな　眩しいことないよあんな小さいの　眩しいこ
とないよあんな丸いの　小さいの

土　小さくて　もう私の帰れない場所

形　雨子はなんで僕の部屋に来た

土 聞きたい

土 じやんけんで負けたの

形 聞きたい

土 雨子は形の左腕を持ち、腕から手の甲、指先を少しづつ撫でていく。

花 まだ人妻じやない

風野 明さんと喧嘩したの

花 なんで

風野 こっちに帰つてくるなんて珍しいじやん

風野 風野はベランダが好きだね

花 私はほとんど嫌い

土 雨子 お兄ちゃんの左手だけ好き 右手が風野で左手が雨子 ねえ覚えてる 夏の日 三人で手を繋いだまま

畠の上に横になつて お父さんのエアコンを最強にして寝るの 誰にも怒られない夕暮れの青

花 私許さない お兄ちゃんのことも私のことも 何も言つてくれない風野のことも

風野 うん

形 あの

土 うん

形 ごめんよ

土 雨子は立つて、部屋を出していく。がちやり。ばたん。形は身体を硬直させたままドアをじつと見ている。

花 でもベランダにいる風野は好き

風野 浮気しに来たの

花 私 風野とだけ秘密を作りたいのよ

風野 明さんと作りなよ

花 明くんとは赤ちゃんが出来たからいいの

風野 え

花 そうよ

風野 え 赤ちゃんいるの

花 行くよ

風野 え お月さん行けないじやん

花 行くの

花 結婚して 羊人間になるの私たち

花 風野

風野 あ 人妻

八場

花 行くよ

風野 行かないよ

花 行くよ どこまでも

月のホテル。風野と村の部屋。風野はベッドに横になつている。両方の目に一つずつ、冷えピタを×の形にしたような絆創膏を貼っている。村はその傍らに付き添っている。カゼノも近くで見守っている。

風野 え 赤ちゃんのこと 言つてないよ

花 秘密はここからでね そりや そろか

花 私この子にとびきりの名前を考えたの

風野 うん え まだ秘密じやなかつたの

花 カゼノ

風野 え

花 カゼノつていうんだよ

風野 なんで

花 この名前 本当は私がほしかつたの たまらなくほしかつたんだよ お母さんがカゼノつて呼ぶ時に眩しく

花 カゼノつていうんだよ うるさいに嬉しそうにしていて 私嫉妬してたの

風野 雨姉ちゃん

花 なに

風野 お腹の子 誰の子なの

花 明くん

風野 明さんの子だつたらお月さんへ行かないと思うよ雨姉ちゃんは

花 行くよ

風野 行かないよ

花 行くよ どこまでも

月のホテル。風野と村の部屋。風野はベッドに横になつている。両方の目に一つずつ、冷えピタを×の形にしたよう

風野 カゼノはさらさらしてゐるね

カゼノ 僕はお月さまの砂で出来てゐますから

いですから

風野 カゼノ
カゼノ はい

風野 羊人間になれたんだね

カゼノ はい

風野 言葉はどこで覚えたの

カゼノ お腹の中で母と父の思い出遺伝子を繰り返し見ました

風野 羊人間はすごいね

カゼノ 違いますよ 地球人間は皆お腹の中で思い出遺伝子を繰り返し見るんですけど 地球に生まれた衝撃で全部真っ白になるんです 僕は生まれなかつたからなんか真っ白になれなくて

風野 そう

カゼノ あの 握手をしてくれませんか

風野 うん

風野は手を差し出す。カゼノは恐る恐るそれに触れる。

カゼノ すごい ベとべとしてる

風野 失礼だね
カゼノ え ベとべとしてたら失礼なんですか

カゼノ は風野の手を放す。村と風野から少し離れながら、

カゼノ ごめんなさい

風野 べとべとしてる人に向かってべとべとしてるって言うのが失礼

カゼノ そうか 大変ですね

風野 なにが

カゼノ なんか 生きるのって だつて 絶対べとべとす
るのに 生きてたら

カゼノ 羊人間だからって何か特別な力があるわけじやな
い
村 え
カゼノ あの 大丈夫ですよ

カゼノ いえ

カゼノ お父さんはつけてくれた名前ですから
お母さんは
お父さんは

カゼノ お父さんは

お父さんはあなたが「カゼノ」だと知つてゐる
お母さんは

お母さんは

うん

知らないです

どうして

カゼノ 地球人間とおんなじですから

いの

はい

カゼノ 僕 風野さんと同じカゼノって名前ですけどこの人の生まれ変わりじゃないですから

カゼノ あの 大丈夫ですよ

なにが

カゼノ 僕 風野さんと同じカゼノって名前ですけどこの人の生まれ変わりじゃないですから

はい

カゼノ だから本当に 僕別に風野さんに何かしようだとか思つてないですから

違うの

え

私はあなたの名前がどうして「カゼノ」なのか聞いたんだよ

え

カゼノ それは 分からないです

どうして

え

お父さんはあなたがつけてくれた名前ですから
お母さんは

え

お父さんはあなたが「カゼノ」だと知つてゐる
お母さんは

え

お父さんは

あなたが「カゼノ」だと知つてゐる
お母さんは

え

お父さんは

うん

知らないです

どうして

カゼノ え
村 赤ちゃんのお名前って 二人で決めるものじやない

カゼノ 俺分かりません

村 あなたのお父さんは誰なの

カゼノ 俺分かりません

村 思い出遺伝子を見て知っているんでしよう

カゼノ 俺分かりません赤ちゃんですから

村 ねえ本当のことを言つてよ私だけ置いてけぼりなの分
かるでしよう

カゼノ ごめんなさい

村 あなたが謝ることじやないの赤ちゃんなんだから

カゼノ ごめんなさい

村 私はあなたに赤ちゃんらしく純粹な言葉を口にしなさ

カゼノ 俺だって置いてけぼりなんです

村 置いてけぼりなのは私だけです

カゼノ 俺も置いてけぼりに入れてください

村 私だけです置いてけぼりなのは

カゼノ 地球人間で怖い人間ですね

村 なにを

カゼノ だって俺はただ名前が「カゼノ」というだけなんで

す
村 おかしいよ怖いのはだって羊人間の方でしよう なん
なの羊人間で

カゼノ 地球人間の死んだ後の形です
村 なんのあなた達の兄弟 人間で死んだらね
カゼノ はい

村 死んだらそれで終わりなの

カゼノ それは違います

村 なんのあなた達の兄弟

カゼノ それで終わりなら俺はなんなんです

村 私は地球へ帰る

カゼノ はい

村 風野くんときちゃんと地球へ帰る

カゼノ そうしてください

村 お願い

カゼノ え

村 風野くんのこときちゃんと地球帰してあげて

カゼノ 俺 盗んでないです風野さんのこと

村 風野くんの目を元に戻して

カゼノ 月の砂が目に入つたんだってホテルのお医者も言
つてたじやないですか

村 風野くんのことちよつとずつ盗んでかないで

カゼノ あの 誤解していませんか羊人間のこと

村 だつて生まれたかったよね

カゼノ え

村 お月さまじやなくて地球で

カゼノ あの

村 生まれたかったよね

カゼノ 村さん

村 なに

カゼノ 俺も俺のこと何がしたいのか分かつてないんです

だつて俺 赤ちゃんですよ なんかなんでこんななんか
成長しきつた感じで羊人間になっちゃったのか俺も分か
ない

なんのなんですがどうなんか納得は出来ないですよね ねえ
納得出来ないですよね村さん

村 はい多分

カゼノ え多分でなんだろう

村 だつて私そんなにいきなり成長したことないから

風野 むにやむにや カゼノ カゼノくん カゼノ カゼ
ノちゃん カゼノちゃん

村 うん

カゼノ あの

村 うん

カゼノ あの

カゼノ はい
村 さんと一緒に会いに行きたい人がいるんで
す

カゼノ うん

カゼノ はい
村 私と

カゼノ はい
村 うん

カゼノ はい
村 うん

カゼノ はい
村 さんと一緒に会いに行きたい人がいるんで
す

カゼノ うん

カゼノ はい
村 いいよ

カゼノ はい
村 うん

カゼノ はい
村 いいよ

カゼノ はい
村 風野くん

カゼノ はい
村 風野くん

カゼノ はい
村 いいよ

カゼノ はい
村 いいよ

カゼノ はい
村 風野くん

風野 え 死んだんだよね

夢雨子と土雨子はどつき合う。

風野 村ちゃん

夢 風よ

風野 お月さんに風はないよ

土 あるのよ 風野なんにも知らないで

風野 雨姉ちゃん

夢・土 なに

風野 うん

夢 なに

風野 いや

土 風野

風野 え

夢 風野

風野 なに

土 風野

風野 なんだって

夢・土 風野

風野 あの

夢 なに

風野 これからどうする

土 どうするって

風野 僕ら もうお別れしなくちゃいけないよ

夢・土 どうして

風野 え 死んだんでしょ

夢 そうだよ

土 そようよ

風野 え 本当に死んだの

夢 死んだよ

風野 そう

土 ごめんね

風野 うん

夢 脳みそ

風野 うん

夢 脳みそどろどろになっちゃって

風野 うん

土 私たち お別れするんだね

風野 お葬式しようか

夢 え

風野 それかもう一回結婚式

夢 結婚式まだやつてないよ

風野 そうだよ だからややこしいんだよ

夢 そうだね

風野 僕もうすぐ地球帰るよ

風野 お葬式と結婚式 どっちにするの

夢 結婚式（土雨子と同時に）

土 お葬式（夢雨子と同時に）

風野 え

風野 え誰かいるの

夢 誰もいないよ

土 私だけよ

風野 え羊人間で一人でハモれるの

夢 ハモれるよ（土雨子と同時に）

風野 え誰

夢 風野

風野 誰がいるんだって

土 風野

風野 え 村ちゃん

夢 だから私だけだつて

土 私と風野の二人だけ

風野 もうなんなの

風野の声がふるえてる。

夢 あれ

風野 本当に死んだの

土 風野

夢 ごめん 風野

土 死んだよ 風野

風野 雨姉ちゃん

形 それはやめた方がいい

村 あすみません

形 ああでも村さん

村 はい

形 飲み物を買つてきてもらえませんか申し訳ないけれど
ねえ たくさん話して喉が渴くよねえ

カゼノ 渴いていません羊人間ですから

形 僕は渴いたんですよ地球人ですから

カゼノ あすみません

形 ねえ村さんちよつといいでですか申し訳ないけれど

村 はい

形 あでも村さんくれぐれも村さん あの 明くんには言
わない方がいい絶対に

村 え でも

形 えちょっとと考えてみたら分かるでしょ この子のこと
を雨子がもし明くんに知らせずに死んだとしたら明くん

村 そうだと思います

形 絶対言わない方がいいよすぐ

村 でも私知りたいんです

形 なにを

村 雨子さんがなぜこの子に「カゼノ」と名付けたのか

形 はい

形 それは雨子が

形 雨子が 僕たち兄弟を不思議な形だと思つていたから

村 はい

形 でも

形 僕たち兄弟はちいちな頃に両親を亡くして 本当な
らお兄ちゃんの僕が支えなきやいけなかつたんだけれど
僕はなんかそういうの下手くそだつたらだからなんだ
か何かが歪んでしまつて 歪んでしまつても誰も何も出
来なかつたのかな

村 お兄さん

形 うん

村 カゼノちゃんは誰の子なんです

形 あの

村 はい

形 僕 ミルクティー

村 お兄さん

形 買つてきてもらえませんか 僕ミルクティー

村 あの

形 僕ミルクティー

カゼノ 形さん

形 うん

カゼノ これを

カゼノ これは

カゼノはポケットから、鉛筆削りのような機械を取り出す。

形 なにこれ

カゼノ なにこれ

カゼノ これは「心削り」といいます

形 心削り

カゼノ はい これをこうやつて頭の上に乗せてですね

カゼノ 僕は母のお腹の中で思い出が途切れました 次に
気が付くともうこの姿かたちになつていて お月さまの
ホテルの前に立つていたんです 僕はその瞬間に激しく
悩みました 僕はなぜ羊人間としてここに立つているの
か 僕は何がしたいのか でもすぐに理解したのです
俺の右手にこの心削りが握られていたんです これはき
つとお母さんが本当にやつてほしいことを俺に託したん
です この心削りを形さんに預けます

と言ひながらカゼノは形の頭の上に心削りを乗せる。乗せ
て、つまみを回す。

カゼノ こうやつてつまみを回していくとですね

カゼノ その人の頭の中の思い出や気持ちがどんどん削ら
れてゆくというものなんです

形 うん あえ 今のこれは

カゼノ これは大丈夫です

形 えでも削られているんだよね今の僕これ

カゼノは心削りを形の頭から離す。機械のフタを開け、削
つたものを確認し、フタを戻す。

形 え今僕は何を削られたんだろう

カゼノ それともう一つこれには使い道があつてですね

カゼノ 大丈夫です

カゼノ え今僕は何を削られたんだろう

カゼノ それともう一つこれには使い道があつてですね

カゼノ 僕は何を削られたんだろう

カゼノ 羊人間を消すことが出来るんです

形と村は目を見開いた。

形 なんで僕なの

カゼノ お母さんが望んでいるからです

形 こんなのは誰に使えばいいんだよ

カゼノ 形さんが決めた人間に心削りを使うことが

お母

かさんの望んでいることなんですね

形え

形は心削りを取り、カゼノの頭にのせる。

村 す

形え こういうこと

カゼノ 形さん

形うん

カゼノ 僕 海へ行つてみたいんです

形 そう

形出ていく。残されたカゼノと村。

十二場

夢・土 みんなつて

明 魚だよ 川の小さな魚 でも僕分かつたんだよね 雨

十三場

明 でも雨が上がればすぐにみんな出て来るんだよ 下の

方へ流れていかずに雨が降る前と同じ そこに

明 だとしたらきっとこいつらは世界の裏側にいるんだ

夢・土 世界に裏側なんであるの

明 そうだよ みんな知つてているんだよ 辛いことがあれ
ばいつも隠れることの出来る世界の裏側 川の魚も動物園のトラとともに 人間の見ていないうちに一瞬で隠れられる世界の裏側 人間だけが正直で 必死になつてこつちの世界にしがみついている 正直で知識しかないから

花 おかげりなさい

形 なんだ 帰つてきてたのか

花 うん

形 勝手に人の部屋入るなよ

花 懐かしくなつて

形 小学生じゃないんだから

花 よくお父さんの日記この部屋で読んだね

形 お前だけだったよそんなの読むのは

花 私赤ちゃん生まれるよ

形え

花 まだ形が出来たばかりだけれど でも私分かるよ

形え 医者には見せたのか

花 お兄ちゃん 赤ちゃんが生まれたら私海へ行くの

え 明くんが好きなの 春でも夏でも秋でも冬でも
え 私と明くんとこの子で砂浜を歩くの お昼間でも暮れでも夜中でも ねえ 私分かるの この子もきっと

雨の日。地球。明と花雨子が川を見ている。花雨子は夢雨
子と土雨子の声をしている。

雨が涼しい。

明 こんなに流れが急だと皆流されるって思うだろ

花 お兄ちゃん 赤ちゃんが生まれたら私海へ行くの
え 明くんが好きなの 春でも夏でも秋でも冬でも
え 私と明くんとこの子で砂浜を歩くの お昼間でも暮れでも夜中でも ねえ 私分かるの この子もきっと
海を気に入るの 明くんの子だもの ねえ 週末のどこ
か一日に必ず行くの お弁当を持って 開いていても開いて
いてなくとも海の家で座つて食べるの ねえ 明くん
おにぎりすごく上手なの それしか自分の得意技が見
けられないんだってさびしそうに笑っていたの だから
その得意技を毎週必ず見せてもらうの ねえ 海へ行

思い出の中の雨の日。地球。形の部屋。形は心削りを手に持つたままうろついていた。そして帰ってきた。形がドアを開けると、花雨子がいる。

て明くんのおにぎりを頬張るの この子もその瞬間がたまらなく好きになるの だつて明くんの子なんだもの

ねえ 晴れていれば地球の海へ行くの

雨の日はお月さ

まの海へ行くの

どこでたつて海の家に座るの

ねえ

この子砂浜を駆けるのが本当に上手なの 明くんの子な

んだもの

ねえ お兄ちゃん 私たち砂浜を歩けばたち

まち両手がいっぱいに塞がるの 砂浜つて面白いきらきらしたガラスだかがそこかしに落ちてているの

この子

はきれいなものを見つけるのも上手なの

ねえ 明くんの子な

の子だもの 私のことを見つけてくれたように

すぐに

明くん

面白いきらきらしたもので両手をいっぱいにしてお母さん

お母さんほら

に見せてくれるの

ねえ お兄ちゃん

お母さんほら

きらきらがきらきらして

るよつて

ねえ お母さん

お母さんほら

れいだよつて

雨の音がバケツをひっくり返したように響く。川の底。

十四場

カゼノ、明に少し歩み寄る。

カゼノ 僕そんなものかと思つてました 生まれたばかりだから

明 もうちょっときらきらしてて楽しいよ世界は

カゼノ 海のことですか

明 そうだね 海はきらきらしてゐるね

カゼノ お母さんが言つてたんです 明さんは海が好きだよ

つて

カゼノ お母さんも言つてました いつか俺を連れてつて

明はポケットから口紅を出す。カゼノに渡す。

カゼノは口紅を花雨子の唇にひこらとする。

カゼノ あの どういうふうにやればいいんですかこうい

うの

明 え 村さん

村 はい仕事行く前とかは
明 死んでるんだけど

村 あ はい じゃあ きれいだねって気持ちでぐいです

明 気持ちでいいの

村 むしろ気持ちです

明 気持ちだって

カゼノ あ はい

カゼノは口紅をちゃんとだけひく。

明 あなた

カゼノ はい

明 雨子と僕の住んでた街は 雨の日が特別きれいなんだ
よ

カゼノ お母さんも そう感じていました

明 そう

カゼノ はい

明 地球 行つてみる

カゼノ え
明 村さんと一緒に行つてみたらしいよ

カゼノ いいんですか

明 お月さんの港で待つておいで

カゼノ でもその前にお母さんに聞いてみないと

明 こういうのはお母さんに内緒で行くんだよ

カゼノ そうなんですか

明 男の子の冒険にお母さんは反対するように出来てるん

カゼノ はい
だよ

明 見つかる前行つといで

カゼノ あの お父さん

明 え
カゼノ お父さんです お父さん

明 うん
カゼノ 行つてきます

カゼノ、出でいく。

明 うん
カゼノ、出でいく。

カゼノ、出でいく。

カゼノ、出でいく。

明 羊人間で

明 なんなんですかね

村 はい
明 なんなんですかね

村 はい
明 生まれ変わつてもさびしいんですね

村 そうですね
明 村さん

明 あynosことお願いします

村 はい
明 あynosのことお願いします

村 はい
明 あynosさん

明 あynosのことお願いします

村 はい
明 あynosさん

明 あynosさん

村 地球に帰らないんですか

十五場

月のホテル。雨子と明の部屋。夢雨子の元に形が来た。形の手には心削りがある。

形

カゼノ はい
カゼノ お父さんです お父さん

カゼノ、出でいく。

カゼノ、出でいく。

カゼノ、出でいく。

カゼノ、出でいく。

明 羊人間で

明 なんなんですかね

村 はい
明 なんなんですかね

村 はい
明 生まれ変わつてもさびしいんですね

村 そうですね
明 村さん

明 あynosことお願いします

村 はい
明 あynosのことお願いします

村 はい
明 あynosさん

明 あynosのことお願いします

村 はい
明 あynosさん

明 あynosさん

村 地球に帰らないんですか

明 あynosさん

夢 なにそれ
形 心削りだよ
夢 そんなのどこでもらつたの
形 カゼノが来たんだ
夢 そう
形 この部屋に来て 明ぐんがいたら僕にこれを使つても
らおうつて思つたんだ 雨子だけなら僕がこれを使つても
あげようつて思つたんだ

夢 いや別に聞いてないけど

形 まあ あの だから うん

夢 私今から消えるの

形 そうだよ

夢 こんなんなつちやつたのはお兄ちゃんも悪いよ

形 いいとか悪いとかじゃないんだよ

夢 私 明くん待つてるの

形 明くんは帰つてこないよ

夢 そんなの分からないよ

形 カゼノが全部を明くんに教えるから

夢 風野はそんなことしないよ

形 弟の風野はね

夢え

形 お前のお腹の中にいたカゼノが全部明くんにばらすん
だよ

夢え

形 言つたじやないか 僕の部屋にカゼノが来たんだよ

夢 カゼノ お腹の中にいないの

形 羊人間になつてホテルじゅううろついてるんだよ

夢 カゼノ

夢雨子、部屋を出ようど、

形 お前が気に病むことはないよ今から消えるんだから

夢 だめよそんな カゼノ

形 せめてお前が結婚式を挙げてくれたらさ

夢 お兄ちゃん 私そつちの方じやない

形 そつちの方つてなんだい

夢 私はねえお兄ちゃん 結婚式したかったの でもも

う 一人の私がそれは絶対嫌だつて お兄ちゃんにも風野
にもひどいことをしてやるんだつて ねえお兄ちゃん私
じやないよ 私はお兄ちゃんのこと好きなままだよ

形え

夢 明くんと一緒にいたつてそだよ だつて私たち兄妹
だよ 不思議な形をした ねえ いつまでも不思議な形
の兄妹だよ

形 雨子

夢 私 お兄ちゃんの左腕を触りたい 覚えてる お兄ち
やんと私と風野の三人で並んであたつた お父さんのエ
アコン あついのにそのままぎゅつて握つてたお兄ちや
んの左腕

形 覚えてるどろか雨子

夢 うん

形 僕はあの時のもんまだよ

夢雨子は形にスキを見つけた。計算し尽くした俊敏な動き
で形の心削りを奪い取る。

村 風野くん 風野くん

村は部屋を出る。廊下は明るく、果てしなく伸びている。

形あめ

夢雨子は心削りを形の頭にあてがい、一気に削る。形のな
にかを。

十七場

風野は思い出の中で、花雨子と出会う。

形 ああああああああああああああああああああ

形は削られ、その場に倒れる。夢雨子は心削りを持って、
部屋を出る。がちやり。ばたん。

花 風野

風野 あれ

花 風野

花 なにその絆創膏

花 風野 月の砂が目に入つたんだよ

花 ベランダにいて

花 風野 僕さつきまでお月さんにいたよ

花 あら それならお母さんとお父さんに会えた

花 風野 会つてないけど

花 お月さまなら会えたのに

村 風野くん 地球へ帰ろう カゼノちゃんと一緒に 風
野くん 風野くん

こんな狭い部屋。探すまでもない。途方に暮れる。

風野 雨姉ちゃんには会つてるよ

花 私 きちんと結婚式出来てた

風野 うん

花 私 きれいだつた

風野 きれいだつたよ

花 明さん 喜んでいた

風野 喜んでたよ

花 私の死体はきちんと明さんの隣にいた

花 明さん 喜んでいた

花 繋いでたよ

花 繋いでた

花 繋いでたよ

花 繋いでた

花 繋いでたよ

花 羊人間になつたのね

花 私 天の川へ行くね

風野 どういうこと

花 脳みそのなくなつた真つ平な海があつたの

風野 雨姉ちゃんは羊人間になるんだよ

夢・土 羊人間になるんだよ

村 風野くん

花・夢 地球人間は地球で生まれたんだよ

風野 お月さんにはいるんだろう

花・夢・土 羊人間は羊で生まれたんだよ

村 風野くん

花 だから私は真つ白な星を目指すの

夢・土 私たち生まれた真つ白な星を目指すの

花 脳みその広がつた真つ白な海

花・夢 真つ白な雲と真つ白な海

花・土 真つ白な鳥と真つ白な川と真つ白なお月さま

花・夢・土 真つ白な星と真つ白な風野と真つ白な私

花 宇宙の黒と真つ白な天の川

村 風野くん

花 真つ白な雨と真つ白な天の川

村 風野くん

花 死ぬつて 本当は遠いとこにあるんだよ

村 風野くん 一緒に帰ろう

月面。風野が仰向けて倒れている。しゃがんで、風野の顔を覗き込むように佇んでいる土雨子。星は月面。星がはつきりと広がつていて、星は遠くに風野と土雨子を見つける。風野と土雨子のそばへ、カゼノがやつて来る。

村 風野くん 風野くん 風野くん 風野くん

風野は喋らなくなる。

月のホテル。形の部屋。形が起き上がる。電気のついていない部屋。光を求める。部屋を出る。がちやり。ばたん。廊下を歩く。電気のついていない真つ暗な廊下。村がいる。

土 分かつたよ

風野 地球へ帰してあげてね

土 あんまり喋ると苦しいよ

風野 村ちゃんは

土 まだ死んでないよ 薄い膜がもうすぐ剥がれるところ

風野 そう

月面。風野が仰向けて倒れている。しゃがんで、風野の顔を覗き込むように佇んでいる土雨子。

カゼノ あの これは

土 人を殺しているところよ

カゼノ 風野さん

カゼノは悲しい。そのまま歩いて過ぎようとするが、

土 うん

せる。

形 カゼノ

土 あなたどこへ行くの
カゼノ 僕はお月さまの港へ

土 羊人間なのに地球へ帰るの

カゼノ はい
土 逆じやない

カゼノ そうですね

土 羊人間は皆地球を見るとなくなつたことを思い出すから逃げるのよ

カゼノ そうですね

土 お月さまの裏側へ逃げるのよ

カゼノ 僕はなくなつてませんから

土 カゼノ

カゼノ はい

土 お願い

カゼノ え
土 地球へは明くんが帰るの カゼノは帰れない

カゼノ 明さんは帰らないですよ

土 お願ひ

カゼノ 明さんはお月さんに残るんですよ
土 カゼノ お願ひ
カゼノ 僕 海が見たくて

カゼノ はい

土はポケットから心削りを取り出す。カゼノの頭の上にの

カゼノ あの

カゼノは形を見る。

カゼノ うん
土 カゼノ
カゼノ もう一回だけ 名前

カゼノ はい

形 おい
土 カゼノ

土 雨子とカゼノが声のする方を向くと、形が立っている。

形 お月さんて本当に砂しかないんだね

土 そうよ

形 でも風が気持ちいいね

土 知らなかつたの

形 薄い膜のせいで気づかなかつたんだなずっと

土 覚えてる

形 うん

土 お父さんのエアコン

形 うん

土 夏の日 三人で手を繋いだまま畳の上に横になつて
誰にも怒られない夕暮れの青

形 左手が雨子で右手が風野で

土 カゼノ

カゼノは土を見る。

カゼノは形を見る。

月面。明が薄い膜発生装置にチューブを差して、それを外している。それを夢雨子が見ている。

夢 何してるの

明 予行練習だよ

夢 もう終わったよ

明 ここに羊人間の男の子が来なかつた 男の子っていう
か赤ちゃんっていうか おっさん

夢 来てないよ ずっと

明 そう

夢 ずっと誰もいなかつたよ

明 そう

夢 明くん 本当の雨子に会いたい

明 うん

夢 それなら お月さまの裏側へ行こう

明 裏側

夢 そうだよ

明 どれくらいかかるかな

夢 半年

明 携帯薄い膜発生装置もつかな

夢 簡単だよ

明え

夢 薄い膜がなくなるまで歩いたらいいよ それで 薄い
膜なくなつたら なくなつたままで歩けるところまで
いたらいいよ

明 そうだね

夢 砂浜みたいに

明 砂浜みたいに

夢 砂浜みたいに

明 砂浜みたいに

途切れる。

月のホテル。風野と村の部屋。村がドアを開ける。がちや
り。暗がりに、風野がいる。風野の頭にアンテナがついて
いる。

風野 村ちゃん

村 うん

風野 あの

村 うん

風野 紼創膏もう取つていいのかな

村 もう痛くない

風野 多分

村 多分でなに

風野は、村の声がきれいだと思う。

おわり

上演に関してはコトリ会議 (kotorikaigi@gmail.com)

までお問い合わせください。